



杏の会の発展を願って

獨協医科大学付属看護専門学校 同窓会会長
松長 幸子〈1部3回生〉

風薫る季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。なつかしい学校に足を運ぶようになり、早1年の月日経ち、総会、卒業式、入学式、と貴重な体験をさせていただきました。

さて、医科大学が創立30周年を迎えることで現在記念館が建設中です。その一角に看護学校専用室兼同窓会室が準備され、各委員会をはじめとする同窓会活動の場ができます。

また、校舎の改築も予定され、人間性豊かな看護職をめざす教育環境が整うことで、地域中核病院として着実に発展している大学病院の担い手が育成され、さらなる活躍が期待できると思います。

最後になりますが、この春新たに100余名の会員を迎え、同窓会「杏の会」がますます発展しますよう微力ではありますがお役に立ちたいと思いますので、今後とも宜しくお願い致します。



副会長就任のご挨拶

獨協医科大学付属看護専門学校 同窓会副会長
村上妃沙子〈1部4回生〉

会員の皆様には、益々のご活躍とご健勝をお慶び申し上げます。

高久副会長から引継ぎ、副会長を努めさせて頂くことになりました。副会長という任務の重さと責任を感じながらも就任期間は、会長を始め会員の皆様のご尽力を賜りながら、看護学校同窓会の発展に努力して行きたいと思っております。

私は1部の4回生として3年間学ばせて頂きました。“魔の4回生”と異命のある1部4回生の学生時代を、懐かしく思い起こすことができます。しかし、卒業してから早xx年経ち、卒業以来滅多に訪れることのなかった看護学校に、運営委員として看護学校を訪れることが多くなると思います。諸先生を初め、諸先輩・同窓生などたくさんの方とお会いするのを楽しみにしながら、私も微力ながら会の発展のために努力したいと思いますので皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



役員紹介

第5期同窓会役員（平成13・14年）

会 長：松長 幸子（I部3回生）
副 会 長：村上妃沙子（I部4回生）
事務局長：若月 輝子（II部3回生）
会 計：桑島 美絵（24回生）岡村 裕美（24回生）
会計幹事：鯉沼 栄子（I部4回生）
 鷺谷美栄子（12回生）
総 務：大木 秀子（I部3回生）
 今泉 玲子（10回生）
 井上 仁美（14回生）海道 明子（13回生）

看護職の名称「師」に統一される

平成14年3月より、看護職の名称が変わりました。男女共同参画社会の実現に向けて看護職のための「性別による相違をなくす名称の統一のための「保助看法」一部改正運動がされ、ついで平成13年12月、衆議院本会議で可決されました。師という名称を与えられたことにより、各自の専門性をより深め、社会的評価を受けられるよう邁進してまいりましょう。

救命救急センター開設される



獨協医科大学病院では、重症及び複数の診療科領域に渡るすべての重篤な患者に対して、高度な医療を総合的に24時間体制で提供するため、平成14年4月1日救急救命センターの指定を受けました。運営形態は併設型であり、病床数は30床（ICU10床・新棟9階20床）にて開設となりました。

創立30周年記念館工事はじまる



創立30周年記念館の工事が平成13年10月1日から始まりました。かつての自転車置き場・テニスコート部室棟にあたる場所です。現在は、基礎工事もすみ着々と建設がすすんでいます。皆さんもご存知の通り、新しい会館ではアリーナや400名収容のホール、セミナー室をはじめ充実した設備となっております。また、看護学校専用室兼同窓会室もあり、様々な活動に利用することができます。

今後とも会員の皆様よりご寄付のご協力をお願い申し上げます。 施設設備実行委員 仁戸部富恵
寄付募集実行委員 高久 敦子

編 集 後 記

2002年も半ばすぎとなり、月日の早さを感じる今日この頃です。

「杏の会」会誌も8号の発行となりました。偶然にも担当編集の会誌委員は8回生がお届けすることになりました。「あの時と変わらないね」とお互い言いながら、この仕事をさせていただきました。次年度はもっと勉強して内容の充実に努めたいと思っております。耳よりの情報がありましたらどんどん編集部までお寄せ下さい。心よりお待ちしております。

同窓会会誌「杏の会」第8号

発行年月日 平成14年5月31日

発 行 附属看護専門学校同窓会事務局

発行責任者 事務局長 若月 輝子

編 集 会誌作成委員会

☎321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880

☎0282-87-2244

印 刷 (株)松井ピ・テ・オ・印刷